

世界の至宝

2023

10

28^土

14:00開演
(13:15開場)

木のホール
神奈川県立音楽堂
音楽堂ヘリテージ・コンサート

開演前に桜木町駅前から
無料シャトルバスを運行

発車時間

①13:05 ②13:15 ③13:30 ④13:45

古楽界最大の
カリスマ

82歳、奇跡の再来日

ジョルディ・
サヴァール
& エスペリオンXXI

ルネサンス&バロックのダンスと変奏
～旧大陸、そして新大陸から～

自身が編曲したカタロニア民謡、ダウランド、カバニリエス、ミランなど
めくるめくサヴァール・ワールドが全開! ※予定プログラム全曲は裏面をご覧ください

出演: **ジョルディ・サヴァール** (ヴィオラ・ダ・ガンバ) **エスペリオンXXI** シャビエル・ディアス=ラトレ (ピウエラ&バロックギター)
アンドルー・ローレンス=キング (スペイン式バロックハープ)
ダビド・マヨラル (打楽器)

S席 6,500円 A席 5,500円 [枚数限定SS席 8,000円] 完売

シルバー(S席) 6,000円/U24(A席) 3,000円/高校生以下0円/年間セット券*30,000円(残券僅少)

[枚数限定・すべて税込価格] ※ヘリテージ・コンサート全5公演同時購入(詳細は神奈川県立音楽堂ウェブサイトをご覧ください)

チケット取り扱い ■ チケットかながわ 0570-015-415 (10~18時) <https://www.kanagawa-arts.or.jp/tc> ■ チケットぴあ <https://t.pia.jp> (コード 242018)

主催&問合せ: オフィス山根 contact@officeyamane.net 共催: 神奈川県立音楽堂 (指定管理者: 公益財団法人神奈川芸術文化財団)

後援: カタルーニャ州政府文化庁  Generalitat de Catalunya Departament de Cultura ラモン・リュイ研究所  Institut Ramon Llull Catalan Language and Culture 協力: 日本ヴィオラ・ダ・ガンバ協会

駐日スペイン大使館 

 Cooperación Española

インスティトゥト・セルバンテス東京 



公演詳細
および
ご予約は
こちらから



巨匠中の巨匠、日本からの依頼に応え再来日を許諾!

コロナが世の中を覆った2020年の夏、自身が高齢なこともあり「もうアジアへは行くことはない」とサヴァールは宣言していた。しかしこのたび、日本からの再度の問いかけに応じ、なんと再来日を許諾! そして「自分に残されている時間は少ない」と、この秋、5年半ぶりの来日が緊急決定した! 全音楽ファン必聴の公演がここを実現する!



© Hervé Pouyfourcat

ジョルディ・サヴァール

ヴィオラ・ダ・ガンバ & ディレクション

50年以上にわたって活躍してきた極めて多才な音楽家。演奏家、教師、研究者、新たなプロジェクトのクリエイターとしてのその業績は計り知れない。公私ともにパートナーであった声楽家の故モンセラート・フィゲラスとともにエスベリオンXX(1974年、現エスベリオンXXI)、ラ・カベラ・レイアル・デ・カタルーニャ(1987年)、ル・コンセル・デ・ナシオン(1989年)を設立し、世界中の数えきれぬ古楽ファンと感動と美の世界を共有、探求、そして創造してきた。

中世、ルネサンス、バロック、古典のレパートリーを網羅した、またヒスパニックと地中海の音楽に焦点を当てた合計230枚以上ものディスクをリリースし、フランス・ミデム賞、国際クラシック音楽賞、グラミー賞などの賞を多数受賞

してきた。その活発な演奏活動及び録音企画は、音楽を異なる民族や文化、あるいは戦争状態にある人々に相互理解や平和をもたらす仲介役となっている。2008年、異文化間の対話のための欧州連合大使に、またユネスコ親善大使「平和のためのアーティスト」に任命された。

その活動によりエヴォラ大学(ポルトガル)、バルセロナ大学(カタルーニャ)、ルーヴェン大学(ベルギー)、バーゼル大学(スイス)からそれぞれ名誉博士号を授与されているほか、フランス政府のレジオンドヌール勲章、ニーダーザクセン州ブラエトリウス音楽賞、カタルーニャ州ゴールドメダル、ヘレナ・バズ・ダ・シルバ賞、そして音楽界のノーベル賞といわれるレオニー・ソニング賞を受賞するなど国内外より高い評価を受けている。



ルネサンス&バロックのダンスと変奏 ~旧大陸、そして新大陸から~

- ◆ **ルイス・デ・ミラン:**
ファンタジア第8番、第38番、
パヴァーヌ第1番、ガイヤルド第4番
- ◆ **トバイアス・ヒューム:**
ヒューム大尉のパヴァーヌ
~ガイヤルド、
たったひとりで行軍する兵士
(無伴奏バス・ガンバ)
- ◆ **カタルーニャ民謡(サヴァール編):**
アメリカの遺言、糸を紡ぐ女
- ◆ **フランセスク・ゲラウ:**
エスパニョレータとフォリア
(バロックギター)
- ◆ **ジョン・ダウランド:**
いにしへの涙
- ◆ **アントニー・ホルボーン:**
ムーサたちの涙、妖精の円舞
- ◆ **アントニオ・デ・カベソン:**
パヴァーヌと変奏
- ◆ **ジュアン・カバニリエス:**
序曲~イタリアのコレンテ
- ◆ **マラン・マレ:**
フォリアによる変奏
- ◆ **ルイス・ベネガス・デ・エネストローサ:**
カベソンのファンタジア、スペインの調べ
- ◆ **アンリ・ル・バイイ:**
パッサカリア「わたしは狂気」
(スペイン式バロックハープ)
摂政殿のラント~モイラの君主~
ホーンパイプ
(リラ・ヴァイオル式に弾くヴィオラ・ダ・ガンバ)
- ◆ **サンティアゴ・デ・ムルシア:**
サルディバル写本より
ガリシアのフォリア~イタリアのフォリア~
舞踏曲「狂気の蜜」

— 休憩 —

エスベリオンXXI



シャビエル・ディアス=ラトレ
ビウエラ & バロックギター

1968年バルセロナ生まれ。バーゼル音楽大学でオスカー

ギリアに師事し卒業。その後、古楽に興味を持ちバーゼル・スコラ・カントルムにてホプキンソン・スミスにリュートを師事する。1995年から2005年までバロック・オペラの世界に積極的に参加し、ルネ・ヤコブス指揮ベルリン古楽アカデミー、コンチェルト・ヴォカレ、ジョルディ・サヴァール指揮コンセル・ナシオンなどに参加。トーマス・ヘンゲルブロックやヴィーラント・クイケンなどとも共演してきている。自身の声楽器楽アンサンブルLaberintos Ingeniososを率いており、スペイン黄金時代の音楽を集中的に演奏しCDもリリース。国際的に高い評価を得ている。



アンドルー・ローレンス=キング
スペイン式バロックハープ

ガーンジー生まれ、エストニアのタリン在住。バロック・オペラ、オーケストラ、あるいはアンサンブルの監督を務めるほかコンティヌオ奏者、バロックハープ奏者、作曲家として幅広く活躍している音楽家であり、学者でもある。トラバーチ、リバヤス、ヘンデル、オキャロランなど失われたイタリア、スペイン、アングロ・ウェールズ、アイリッシュ・バロックハープの再発見に貢献した。トラジコメディアの共働創設者であり、ザ・ハープ・コンソートの音楽監督として、即興演奏やコンティヌオ演奏に革命をもたらした。ドイツのエコー賞、オランダのエジソン賞を受賞するなど数々の賞を受賞してきた。



ダビド・マヨラル
打楽器

エベ・オネスティおよびオラシオ・イカストのもとで音楽を学び始める。ファンホ・ギエムに師事し打楽器の世界に入るも、やがて歴史的打楽器に興味を持つようになりペドロ・エステバンに師事する。またショクリ・モハメドとサラ・サバフからアラビアの打楽器を学んだ。中世、ルネサンス、バロック音楽を専門とするエスベリオンXXI、ラルベッジャータ、アンサンブル・カプスベルガーはじめ世界をリードする様々なアンサンブルとの共演を重ねニューヨークのカーネギーホール、アリス・タリーホール、カイロ・オペラハウス、エルサレムのワード音楽祭またシリアやチュニジア、クウェート、キューバ、ブラジルなどで演奏している。